

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース											
専攻実技2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	西川進・永田範正			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター				
授業概要											
卒業時にビジネススペースでのデモ作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。そのための基礎的な楽曲制作スキル、基礎的な楽器の知識の習得、様々なジャンルのアレンジスキルを体得するなかで、オリジナリティーの追求とビジネススペースでの制作発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
オリジナリティーの追求とビジネスプランの検討がされ、かつ音楽的品質の高いデモ作品の完成を目標とする。講師は作品を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、作品をブラッシュアップしてゆく。経済的基盤または社会的基礎における再現性、継続性が見込める作品の制作や活動を見据えた知識とスキルの習得が最上位目標となる。											
授業方法											
制作ソフト「cubase」の操作法を随時アップデートする過程で、DAW制作の基礎的なスキルを体得する。コード進行のバリエーション、リズムバリエーションの習得、多様なメロディラインを生み出す手法の理論的側面からの考察、楽器毎の打ち込み方法や音色作りのポイントについて学ぶ。また、様々なジャンルや年代の既存曲を多角的に分析することにより、楽曲の仕組み、アレンジの仕組みを理解し、オリジナル楽曲の制作に活用する。											
成績評価方法											
提出物60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布のステムデータ・MIDIデータなど											
回数	授業計画										
第1回	ダンス系楽曲の分析（使用音色）・作品制作（リズム入力）										
第2回	ダンス系楽曲の分析（コード進行）・作品制作（コード進行入力）										
第3回	ダンス系楽曲の分析（メロディライン分析）・作品制作（メロディ入力）										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース	
専攻実技2	
第4回	シンセサイザーの基礎知識・作品制作（シンセサイザーの活用）
第5回	ダンス系リズムトラックの知識・作品制作（リズムトラックのブラッシュアップ）
第6回	高度なミックス手法（サイドチェーンなど）・作品制作（ミックス、書き出し、提出）
第7回	作品の授業内発表
第8回	アレンジにおけるギターのアプローチ・ギター打ち込みのコツ
第9回	アレンジにおけるベースのアプローチ・ベース打ち込みのコツ
第10回	アレンジにおけるストリングスのアプローチ・ストリングス打ち込みのコツ
第11回	作品制作（オリジナリティとビジネス的観点から方向性を検討、制作①）
第12回	作品制作（方向性を考慮した制作②）
第13回	作品制作（方向性を考慮した制作③）
第14回	ミックス、書き出し、提出、プレゼンシート制作
第15回	作品の授業内発表（プレゼンシートと共に）